


令和3年度（2021年度） 第1回 特別史跡熊本城跡保存活用委員会 主な意見

■日時 令和3年（2021）7月27日（火）14：00～

■場所 熊本市役所別館駐輪場8階会議室

■出席者 伊東（龍）委員長・伊東（麗）委員・河島委員・小堀委員・坂本委員・西嶋委員・服部委員・廣瀬委員・毛利委員・森崎委員・山尾委員・山田委員 計12名
※山田委員はリモートでの出席、小畑委員は欠席

【前回委員会の主な意見】

委員	委員意見	当日の回答	対応
廣瀬	・顔はめ看板の横に熊本城等の文言はあったか。ここが熊本城だということが写真を撮った時に分かった方が SNS で流れた際にわかりやすいように思う。	・名称等は入っていない。	・「熊本城」のプレート設置済。 

【報告・議題】

1) 今年度の委員会について（主な審議等の予定 ・開催スケジュール）

委員	委員意見	当日の回答	対応
	発言なし		

2) 熊本城域の基本情報

委員	委員意見	当日の回答	対応
西嶋	・配布資料第6章に運営体制の整備というところがあり、本文を見ると各関係機関との連絡会議を設けると書いてあるが、今どのような形で進捗しているのか。今後、保存と活用を進めていく時に、運営体制の整備というものを明確にし、具体的にどう進めていくのかをこの委員会で検討いただくことが重要かと思う。	・全体的なバランスの中で運営体制の整備を最後あっさりまとめている印象かと思う。この委員会を進めていくにあたり、それぞれ課題や皆さんの意見などをいただくとと思うので忌憚のないご意見をいただき、事務局もそれを参考にして務めたいと思う。	対応
毛利	・資料4-3のゾーニング計画の中に別紙の地図が	・保存活用計画策定の段階では、三の丸について	

	<p>あったが、三の丸と二の丸は近く、どちらも公園になっているので、二の丸だけでなく三の丸についても緑の憩いの広場ゾーンにしてもよいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料 3 の文化財の保存と活用に関する基本的な考え方に文化財の価値を地域に生活する人々が享受できるとあるが、この地域に生活するのは広い範囲で考えて熊本県民、市民というように受け止めてよいか。 	<p>ては博物館や刑部邸があるので歴史体験ゾーンという形で方針を定めているが、緑の部分もある。計画自体は今の段階では変えられないが、運用の中では広く緑、憩いの場としていただけるようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本城の保存活用計画で地域というものを限定して、地域住民と記載しているわけではない。当然テーマごとに市民・県民のことを想定していたり、熊本城の城域の中の話であったり、様々な場面がある。 	
--	---	--	--

3) 千葉城地区（NHK 跡地等）の史跡整備計画について

委員	委員意見	当日の回答	対応
西嶋	<ul style="list-style-type: none"> 千葉城地区については、11月ごろに開催される二回目の委員会で成果報告・基本計画案、調査計画案を示されるということか。 かつて委員会メンバーと有識者を加えた部会を設置したことが相当有効だったと認識しているので、今後検討の在り方というものがどういう形に変わる部分、変わらない部分があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2 で例示しているが、基本的には具体的な基本計画案を示す段階までは今年度はいかないだろう。順番としては、資料の整理把握をしたうえで何が必要かを積み上げていきたいので、11月は成果報告、調査計画案になると思う。 現在の委員構成自体が各分野・団体の代表の方々一名ずつ委員になっていただいているような状況であり、現時点では千葉城地区については委員の皆様から意見をいただきたいと考える。そのため、すぐに部会を設けてそれぞれの案件を分けることは考えていない。将来必要に応じて有効になれば考えていかなければならないと思う。 	成果報告は資料 2-1、調査計画案は資料 2-2 により説明。

河島	<ul style="list-style-type: none"> 千葉城を調査し、武家屋敷の地割や屋敷内部の施設等を明らかにするというが、作り物を作るのは私はどうかと思う。かといって中世の地図があるわけではないし、中世の在り方がどうなっていたかということもよくわからない。千葉城の在り方の本質をどうとらえていくのかというのが一番重要だと思っているし、県立美術館分館の活用と千葉城をいかに保存していくかを考えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉城地区（NHK 跡地）については、古代の横穴墓や中世城があったり、西南戦争の砲台が置かれたり、軍で使われていたという歴史がある。ここにあるべきものとして近世城郭という部分は保存活用計画でもあるが、そういう歴史もしっかり伝えていくことも必要と当然考える。それが NHK 跡地が他の所と違う役割、ここならではの部分というものが出ると思う。そういった情報を整理して提供させていただきながら、皆様から色々なご意見をいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2-1 により説明。
服部	<ul style="list-style-type: none"> 3 回でイメージを固めておくということだったが、その点はどういう方法でイメージを深めていくのか。3 回でイメージを深めていくのであればどういう方法でアプローチしていくのが説明を聞いてもよくわからなかった。具体的にはどうしていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に 2 回で固めてしまうわけではなく、あくまで目安とさせていただいた。調査研究成果を第 2 回、第 3 回で提示し、その中で具体的な議論に入っていきたい。今回としてはこれからの方針をご了解いただければと思う。 	
坂本	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究をするにしてもそこが目的ではなく、どういう風な保存をして、どういう風に活用していくかという結論を導き出すような議論をしていかなければならない。千葉城地区は熊本城と上通をつなぐ場所であり、熊本城を起点として周回する熊本の観光にとって重要な場所であるので、どのような活用をするかという議論も同時にどこかでしていかなければならない。 		<ul style="list-style-type: none"> 整備計画を進める中で、活用についても検討を進めていきたい。
山尾	<ul style="list-style-type: none"> 本質的価値を把握するとあるが、千葉城地区の本質的価値はどの時代からを対象とするのか。中世 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に近世城郭が本質的価値の部分であると考えている。ただ、熊本城の前後の歴史も重要で 	

	以前を全て含めるのか、熊本城の本質的価値とされている時代を対象とするのか明確ではない。	あるため、新たな資料の発見や発掘調査で明らかになることがあれば、本質的価値の部分ではないかもしれないが、理解を深めるために必要であれば調査を進めていく。	
山田	<ul style="list-style-type: none"> 中世城の問題は、熊本城エリアに先行する城があったかどうかということにも関わってくるので、中世段階の状況の把握はそれなりに意味があると思う。 		<ul style="list-style-type: none"> 中世城については今後も調査研究を進めていく。
西嶋	<ul style="list-style-type: none"> 行幸坂・櫓方門のように後世に手が加えられ違う意味合いの名所になり、市民に定着している所がある。そういった場所については歴史的な経緯を説明してもらうことで納得感が得られると思う。保存と活用の観点からすると、エビデンス（根拠）に基づいた活用の検討をお願いしたい。 人流・消費などのデータに基づいて活用を議論しなければならない。過去の経験や思い込みで物事を解決しようとする傾向があるので、これからはDX等も使って科学的に分析された資料に基づいて活用を議論することが必要だ。 		<ul style="list-style-type: none"> ご意見を受けて検討を進めていきたい。

4) 熊本城みどり保存管理計画について

委員	委員意見	当日の回答	対応
廣瀬	<ul style="list-style-type: none"> 行幸坂の桜について伐採を予定という事だが、伐採された後、植樹の予定があるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 桜の寿命が来ているのも実際あるので、今回の伐採をするのが一点。桜自体は切ってからしばらく期間を置かないと補植が難しいというのが一つと、少し離れた所に植えなければならないのも一つ。行幸坂そのものは、元々南坂に盛土をしているが、補植ができる場所は 	

		どこかという事の検討が今からとなる。	
西嶋	<ul style="list-style-type: none"> ・2回の委員会の議論でほんとうに多項目にわたる問題が着地できるのか心配だ。1つは上位概念、「みどりの基本計画」に該当する部分を、次回の委員会でお示しいただきたい。 ・緑に関して、歴史的事実の認識が不足している。明治以降近代になってから造営された緑が相当沢山在ると私は認識しており、城域は近代のランドスケープの創造の場ではなかったか。その点が資料化されていない。 ・我々も15年間ほど官民連携で桜の植樹活動をしてきたが、横目ではボロボロになった桜を見てきた。15年前から現場ではどういう管理をしてきたのか、不作為は無かったか。その辺りも点検してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度11月に途中経過という形でご報告させていただきたい。 ・熊本城については「熊本城保存活用計画」を踏まえながら、しっかり管理を行なっていくという一言が書いてある。 	○第2回委員会（本日）で説明
服部	<ul style="list-style-type: none"> ・今回熊本城の歴史的変遷を調査されるという事で、土地利用の変遷、遺構調査が入っているが、元々建物があった所には木は無いと思う。石垣に悪影響を与えているというのは、そもそも木が生えるべきでは無い所に木が生えたから、石垣の中に入り込んでいっていると思う。それから遺構表示をする場合に、ここにこういう建物があったんだという、表示するのが史跡の普通のやり方だと思う。そういう遺構表示をした所に木が在ったらおかしいと思う。 ・熊本城ではこういった植栽をして、城としての機能を果たしていたなどの情報や、熊本城はどうい 		○第2回委員会（本日）で説明

	う姿が本当なのかななどの情報を分かるようにしてもらえたらいいと思うので、今回の歴史の変遷にはそういった所も加えてもらおうとありがたいと思う。		
伊東(龍)	<ul style="list-style-type: none"> 熊本城の植栽の変遷、近世から近代まで連続して歴史が成立する中で、それらを踏まえた案ができることが望ましい。 		○第2回委員会(本日)で説明
小堀	<ul style="list-style-type: none"> 城内の木について歴史的価値といいますか、歴史があるものと近世のものといろいろあると思うが、古樹についてまとめられています、できるだけ残してもらいたいと思う。ただし安全確保は必要。 熊本城図で坪井川沿いに桜が描かれているものがある。古い絵図で桜があったと分かる場所についてはケアしてもらい、眺望・景観を維持できるように配慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 古樹につきましては、今年度は詳細点検をさせていただいて、保存の可能性を見極めながら対応策を考えさせていただく。 	
河島	<ul style="list-style-type: none"> お城としての景観をいかに観光客にもうまく見せるか、城壁の石垣を遠方からでも綺麗に見せるのが重要かと思う。ここに通町から見た熊本城の写真があるが、樹木がどんどん育っていくので伐採もしながら管理することが大事。 		
毛利	<ul style="list-style-type: none"> 熊本城の特別史跡の中に樹木で国指定の天然記念物になっている所は、何ヶ所くらいあるのか。 藤崎台の大クスノキについては、今回計画の中に入っていない。大クスノキの管理は熊本城管理事務所がやるという方向に検討していただければ、 	<ul style="list-style-type: none"> 国の特別史跡の中に国指定の樹木はありません。特別史跡として保護されていて、その中の樹木で個別に指定されていない。 県文化課の方とは情報共有しながら、お互いに意見交換をして適切な管理を続けていく。 	

	ありがたい。		
伊東 (麗)	・熊本城内の緑というのは、安全面以外にも、観光客に対しての緑陰効果とか大変重要だと思う。木が切られたとしても樹冠を少しでも広げて、緑陰を確保するという事で緑の基本計画にも繋がると思う。		・ご意見を受けて検討を進めていきたい。
西嶋	・4番の熊本城みどり保存管理計画ですが、これは継続審議か。今日提示されたものは、全て継続か。継続審議のものと結論を出すものをしっかり分けて諮っていただきたい。	・今回特にD判定についての考え方の方向性の承認をいただきたいのと、安全対策工事が終了し開放する行幸坂のD判定樹木が11本ほど工事エリアにあるが、それについては、計画を作る前に伐採の方で進めさせていただければと思う。	
伊東 (龍) 委員 長	・計画そのものは継続審議で、行幸坂のD判定については直ちに伐採したい。D判定で行幸坂以外のものは、時期まだいつという事はないということか。	・計画そのものは、今後も継続して審議にかけていきたい。 ・D判定の樹木については、優先度を高く設定して近年中に対応したいと考えている。しかし予算等の関係もあるので、全てを一遍にする事は難しい。トライアージ(優先度選別)を考えながら、対応を進めたいと考える。	

5) 今年度の復旧事業予定について

委員	委員意見	当日の回答	対応
	発言なし		